

【File No. 6 | 岩村藩鉄砲鍛冶加納家 いわむらはんてっぽうかじかのうけ】



鉄砲鍛冶を行っていた加納家

岩村藩鉄砲鍛冶加納家初代包房は、土岐郡萩原村（現瑞浪市）の出身で、1814（文化11）年に岩村藩主松平乗保に三石二人扶持で召し抱えられ、1831（天保2）年12月ごろ現在の加納家の地に移り住んだ。

跡継ぎの清房は、1822（文政5）年、二石二人扶持で足軽として雇い入れられ、1830（文政13）年から約2年間、和泉国堺に大筒鉄砲製造修行に出たが、1836（天保7）年に病死。包房の次男兼次が跡を継ぎ、加納富右衛門と名乗った。父の死の約10カ月後、堺に鉄砲製造修行に出掛けている。

加納家は古文書などにより、岩村藩に召し抱えられる以前の1812（文化9）年から1872（明治5）年までは鉄砲修繕も含め、鉄砲鍛冶に関わる生業であったと推察される。鉄砲以外にも、槍や鳶口などを製造した記録も残っている。

ひとロメモ

建物は、当初は板葺石置屋根。2階の傾斜窓・塗籠は後世の改造だが、目を引く意匠となっており、母屋と裏の土蔵が市の文化財（建造物）に指定されている。平成24年度から保存修理工事を実施。平成26年4月から一般公開を予定している。

恵那写真館

私の大好きな1枚
（撮影地：明智町）

山岡町 春日井 進さん

下ヶ淵の紅葉の美しさと巨大な石。川の中央にどっしりとしたゴリラの頭部。何億年前から今の川にいるのか。この巨石を明智町の新名所としたらいかが。

皆さんの
大好きな風景を
気軽に応募く
ださい！



億年前のゴリラ石

□応募方法 写真か画像データと①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④題名⑤写真の場所(町名)⑥お薦めの理由(70字以内)一を記入した用紙を持参するか郵送、電子メールで企画課広報広聴係へ提出する。

次号は
11月15日号
発行日は
11月15日(金)です

広報えな No.208

2013年(平成25年)
11月1日発行

発行 恵那市役所/編集 企画課広報広聴係
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1
☎(0573)26-2111/☎25-6150/(IP電話)050-5808-9521
http://www.city.ena.lg.jp/ ☒info@city.ena.lg.jp

『広報えな』11月1日号、
1部当たりの印刷経費は
約12.9円(税込み)です。



市安心安全メール配信システム
(登録用QRコード)
市WEB版文字放送システム
(閲覧用QRコード)

□問い合わせ 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。

